学校番号	1016

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	自立支援 数学Ⅰ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　新高校の数学Ⅰ」　（数研出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ 授業では、課題に対して、自ら考える活動を行います。答えが出せるための方法を覚えるのではなく、その方法を理解しましょう。
・プリントの課題に取り掛かり、各自答え合わせをして、間違った問題があれば解けるようになるまで再度挑戦しましょう。
・ 個人に合った内容を行うので、その都度変更していきます。苦手意識を持たずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1) 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりすることができる。	数と式・集合と命題を通して数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期 2学期 3学期	数と式	式の計算 ・ 多項式の加法と減法 ・ 多項式の乗法 ・ 因数分解	a：乗法公式、因数分解の公式等を用いて、式を目的に応じて変形することができる。 b：工夫が必要な展開や因数分解において、学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に考察することができる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 振り返りシート
		実数 ・ 実数 ・ 根号を含む式の計算	a：分数の形を循環小数で表現できる。絶対値の意味と記号表示を理解している。簡単な無理数の計算ができる。 c：循環小数が分数で表現できることに関心をもち，考察しようとする。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 振り返りシート
		1次不等式 ・不等式の性質 ・1次不等式 ・絶対値を含む方程式・不等式	a:不等式における解の意味を理解し、1次不等式の解を求めることができる。 b:不等式の理解を深め，式を多面的に捉えて問題を考察することができる。身近な問題を 1 次不等式の問題に帰着させ，問題を解決することができる。 c:日常生活における具体的な事象を数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用しようとする。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 振り返りシート
	集合と命題	・集合 ・命題と条件 ・命題とその逆・対偶・裏 ・命題と証明	a:集合と命題に関する基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。 b:条件を満たすものを集合の要素としてとらえることができる。 c:集合について，それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度